

置)による観測では新岳火口周辺の噴気地帯で高さ10m程度の弱い噴気が時々認められている。

京都大学防災研究所附属火山活動研究センター及び産業技術総合研究所のGPSによる地殻変動観測では、9月頃から11月頃にかけて、新岳火口付近で膨張を示す変化が認められた。また、気象庁が10月30日から11月1日にかけて新岳火口付近で稠密に行ったGPSによる地殻変動観測でも、新岳火口付近の膨張を示す変化を確認した。なお、火口付近での膨張を示す地殻変動は12月に入りやや鈍化した。

▲諏訪之瀬島 (29°38'18"N, 129°42'50"E (御岳))

11月7日、12月20日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。十島(としま)村役場諏訪之瀬島出張所によると、11月4日、17日及び12月19日に集落(御岳の南南西約4km)で降灰が認められた。噴火活動に伴い火山性連続微動が発生した。火山性地震は多い状態で経過した。

(お知らせ)最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

火山活動解説資料

URL http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

(文責:気象庁地震火山部火山課 相澤幸治)

○技術職員公募

【東京大学地震研究所】

1. 募集職種: 技術職員 (2名)
2. 勤務場所: 東京都文京区弥生 1-1-1
3. 職務内容: 地震や火山現象の正確な理解のために必要な、地震、地殻変動、電磁気、重力など、多種多様で高精度なデータの取得や蓄積を目的とした観測機器の設置、維持管理・保守、および観測機器の改良・開発における技術支援など。年間数十日程度の、陸上もしくは海上での野外活動が含まれる。
4. 応募資格: 4年制大学理工系学部卒業以上で、観測・計測あるいは計測機器に関連する、少なくとも5年程度以上の職務経験を有すること。ただし、大学院等における研究歴は資格要件の職務経験に含む。
5. 応募期限: 平成19年1月30日(火)午後5時必着
6. 採用予定時期: 平成19年4月1日
7. 本件に関する問い合わせ先:
東京大学地震研究所 教授 佐野 修
電話 03-5841-5892 e-mail osano@eri.u-tokyo.ac.jp
詳細は地震研究所ホームページ (<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp>) に掲載。

u-tokyo.ac.jp) に掲載。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに12月25日送信しました)

○教員公募

【東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻】

1. 募集人員: 助教授 1名
専門分野: 地球惑星科学(地球惑星内部物理学、宇宙地球化学など) 自らの専門分野のほか、本専攻の他分野にも広く関心を持ち、積極的に共同研究を展開できる活動の人材を強く望みます。
 2. 応募資格: 博士の学位を有する者
 3. 着任時期: 採用決定後、できるだけ早い時期を希望します。
 4. 提出書類
 - (1) 履歴書(市販のもので可)
 - (2) これまでの研究・教育の実績(2,000字程度)
 - (3) 研究業績リスト
 - A. 査読付き原著論文
 - B. プロシーディングス、総説など
 - C. 著書、その他特記すべき出版物
(いずれも和文のものは和文で表記すること)
 - (4) 主な原著論文の別刷(コピー可) 3篇以内
 - (5) 今後の研究・教育の計画・抱負(2,000字程度)
 - (6) 応募者について参考意見をうかがえる方(2名)の氏名および連絡先(所属、住所、E-mail)
 5. 応募締め切り: 2007年2月28日(水) 必着
封筒の表に「助教授公募書類」と朱書して、できるだけ宅配便で送付してください。
 6. 提出書類の送付先及び問い合わせ先:
〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 I2-2
東京工業大学 大学院理工学研究科
地球惑星科学専攻 高橋栄一
E-mail: etakahas@geo.titech.ac.jp
Tel: 03-5734-2338
詳細 HP:
<http://www.geo.titech.ac.jp/koubo/koubo.html>
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに12月26日送信しました)
- #### ○技術職員募集について
- 【名古屋大学全学技術センター教育・研究技術支援室】
1. 身分: 国立大学法人職員
 2. 募集人員: 1名
 3. 採用時期: 平成19年4月1日(予定)

4. 応募資格:
- 1) 大学・高専卒(卒業見込みの者)またはそれと同等以上の学歴を有する者
 - 2) 普通自動車免許を有する者
* 電子・電気・情報系が望ましい
5. 職務内容:
- 1) 実験および観測機器等の設計・製作・開発
 - 2) 地震・火山観測網の維持管理および現地における野外観測
* 観測等での長期出張が可能な者
6. 所属: 名古屋大学全学技術センター 教育・研究技術支援室
7. 勤務場所: 理学部装置開発室及び環境学研究科付属地震火山・防災研究センター
8. 勤務内容や給与等: 以下を参照のこと
http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/INTRO/koubo/070126_zengijyutu.pdf
<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/>
9. 選考方法: 書類審査の上、面接を実施します
10. 応募書類:
- 1) 履歴書(写真貼付, 学歴は高等学校卒業から記載)
 - 2) 志望動機と抱負(A4用紙一枚程度)
11. 送付先及び問合せ先:
〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部・理学研究科人事掛(簡易書留で郵送)
TEL 052-789-2802(担当 遠藤)
12. 応募締切: 平成19年1月26日(金)午後5時必着
13. その他: 以下のHPを参照
- ・全学技術センター <http://www.tech.nagoya-u.ac.jp/>
(理学部技術情報)
<http://www.tech.sci.nagoya-u.ac.jp/>
 - ・地震火山防災研究センター
<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/>
- (上記のお知らせは火山学会メーリングリストに12月28日送信しました)

○教員の公募について

【北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター】

1. 職種・人員: 教授・1名
2. 専門分野: 地球物理学的手法による火山観測研究を推進する。理学院自然史科学専攻および理学部地球科学科の教育を担当する。
3. 着任予定時期: 採用決定後できるだけ早い時期。
4. 応募書類:

- (1) 履歴書(国内外の学会活動, 受賞歴, プロジェクト研究参加歴, 各種研究費の受領歴, 学位審査履歴(主査, 副査のほか実質的指導を含む), 非常勤講師の経歴, 社会貢献などを含む)
 - (2) これまでの研究経過(2000字程度)
 - (3) 研究業績目録(以下のように区分して記載)
 - A. 査読のある論文および総説
 - B. 査読のない論文および総説
 - C. 著書
 - D. 解説, 報告書などその他の出版物で特に参考になるもの
 - (4) 主な論文の別刷または著書 5編(複写可)
 - (5) 今後の研究計画(北海道における火山観測の将来展望を含む)と教育の抱負(2000字程度)
5. 応募の締め切り: 2007年3月31日
封筒の表に「教授応募書類」と朱書し, 書留にて郵送すること。
6. 書類の送付先および問合せ先:
〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 茂木 透
TEL: 011-706-4679
E-mail: mogitv@mail.sci.hokudai.ac.jp
7. 資料: 当センターの概要, メンバー等は, 下記ホームページ参照。
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/grp/isv/isv-web/>
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに1月18日送信しました)

○研究員公募のお知らせ

【京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設】

1. 募集職種・人員: 研究機関研究員 1名
2. 研究分野: 本施設の研究者と協力して, 施設が行っている研究分野あるいは, その関連分野における研究を進展させると共に, 地球熱学の新しい領域を開拓する意欲的な方を歓迎する。
3. 応募資格: 着任の時, 35歳未満, 博士学位を有すること
4. 勤務地: 地球熱学研究施設(大分県別府市)又は火山研究センター(熊本県阿蘇郡)
5. 着任時期: 平成19年4月1日以降出来る限り早い時期
6. 採用予定期間: 原則として採用日より2年間(3年まで更新可)
7. 待遇等:
 - (1) 身分: 講師(研究機関研究員)

(2) 給与: 月額約 30 万円

8. 応募期限: 平成 19 年 2 月 5 日 (月)

9. 応募書類:

(1) 履歴書: 氏名, 生年月日, 住所, 連絡先 (電話および e-mail も記載) 学歴 高校入学以降の入学年月日, 卒業年月日 職歴 資格 賞罰 学会賞など

(2) 業績目録: 査読論文, 査読なし論文, 学会発表など, 博士号 (題目, 取得大学, 時期も記載)

(3) 研究の概要および今後の研究の抱負 (各 A4, 1 枚程度)

10. 応募先: 必要書類を Word または PDF ファイルを添付し下記に mail で送付

〒874-0903 大分県別府市野口原

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設
竹村恵二

電話 0977-22-0713

e-mail: takemura@bep.vgs.kyoto-u.ac.jp

なお, 現在, 機関研究員ポストの継続について検討中で, システムが変更になる可能性があり, 京都大学からの平成 19 年度非常勤研究員経費が来なくなった場合には採用できないこともある。

現在, 本施設に所属している研究者やその研究分野等の詳細については, HP 等 (<http://www.vgs.kyoto-u.ac.jp>) を参照のこと。

応募にあたっては, 本施設の教員と必ず事前に連絡を取り, 研究プロジェクトについて相談すること。適任者が見出せない場合は, 施設長 (takemura@bep.vgs.kyoto-u.ac.jp) と相談すること。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 1 月 25 日送信しました)

○助手公募

【東京工業大学 21 世紀 COE プログラム「地球: 人の住む惑星ができるまで」】

1. 募集人員: 21 世紀 COE 教員 (助手相当, 地球化学分野) 1 名

2. 研究内容

a) 地球化学: 安定同位体地球化学による地球史表層環境変化の解明

b) 分析技術: 新しい化学分離・分析技術の開発
上記のいずれかに関連する研究をプラズマイオン源質量分析法及びクリーンルーム実験室を利用して展開し, 本プログラムの各グループと密接に協力できる人材, さらに本プログラムにおけるコースの学生教育に意欲を持つ人材を歓迎します。

3. 応募資格

博士の学位を取得した方, あるいは, 着任時までに博士の学位取得見込みの方

4. 待遇・任用期間

単年度契約 (非常勤職員) ですが, 本人事に関しては COE 期間内 (平成 20 年度まで) の更新・継続任用を予定しています。給与 (年俸制) は常勤助手相当になります。

5. 着任時期: 平成 19 年 4 月 1 日以降で, 決定後できるだけ早い時期

6. 応募書類

・履歴書

・業績目録: 「論文」(査読付雑誌掲載), 「国際会議発表」, 及びそれ以外の「総説等」に分けてください。

・主要論文 (3 篇以内) の別刷, あるいはそのコピー

・本研究プログラムに対する抱負並びに今後の研究計画 (2000 字程度)

・専門的な研究技術, 実験装置などの経験

・所見をうかがえる方 (2 名) の氏名および連絡先 (所属, E-mail)

7. 応募書類の締切: 平成 19 年 2 月 16 日 (金) 必着

8. 応募書類送付先

〒152-8551 目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科 21 世紀 COE 教員 (地球化学分野) 選考委員長 平田岳史

(応募書類の封筒に「COE 教員 (地球化学分野) 応募」と朱書して下さい)

問い合わせ先

Tel: 03-5734-2243 Fax: 03-5734-3538

E-mail: hrt1@geo.titech.ac.jp

(件名には「21COE 人事」を頭につけて下さい)

<http://coe21.geo.titech.ac.jp/recruitment/researchers.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 2 月 2 日送信しました)

○教員の公募について

【東北大学東北アジア研究センター】

1. 公募分野 東北アジア研究センター地域環境研究部門地球化学研究分野

2. 職名 教授 1 名

3. 専門分野

火山学, 地質学, 岩石学などの研究分野。その上で, 日本, 朝鮮, 中国, モンゴル及びロシアなど, 東北アジアを研究対象とした実績があること。

4. 応募資格
博士の学位を持ち、専門分野において卓越した業績を有すること。フィールド研究の経験を有し、日本を除く東北アジアを対象とする研究に対して熱意を有する者。また文系など異分野との研究連携についても前向きである者。国籍を問わない。英語による十分な研究能力と、日本語による事務処理能力を有すること。
5. 担当授業科目
(学部) 地球物質科学関連科目及び地質調査の指導
(大学院) 上記の専門分野にかかわる大学院理学研究科で必要な授業科目
6. 年齢 55歳以下
7. 採用予定日 平成20年4月1日
8. 応募締切日 平成19年4月27日(金)必着
9. 提出書類
 - (1) 履歴書(写真貼付のこと)
 - (2) 研究業績一覧(論文・著書・その他、論文については査読の有無による区分をして記載すること。)
 - (3) 主要な業績10点(別刷り・コピー可、各1部) それぞれに400字程度の日本語の要旨をつけること。
 - (4) 今までの研究について、上記10点に触れつつレビューを行ってください。日本語で2000字以内。
 - (5) 着任後の研究・教育に対する抱負を書いてください。日本語で2000字以内。
 - (6) フィールド調査経験、共同研究・国際共同研究の企画・参加状況、シンポジウム及び国際会議の開催・招待講演、所属学会、新聞寄稿、政策提言等、及び審議会委員その他各種社会貢献、等々が分かるデータの一覧(該当する項目について記載すること。)
 - (7) 現在までに取得した科学研究費補助金等の各種外部資金のデータ一覧
 - (8) 教育経験が分かる授業科目等のデータ一覧(平成18年度を含む最近5カ年間) 授業科目名と指導学生数(博士・修士の学位授与に関わった場合はそれについても記載すること) など。
 - (9) 現在の所属機関での各種委員会や運営面で果たした役割(平成18年度を含む最近5カ年間)
 - (10) その他研究教育等の面で特記事項がある場合は、1000字以内で記載すること。(ない場合は提出不要。)
 - (11) その他審査の必要に応じて資料・書類提出を求めることがある。
10. 留意点

東北大学は、平成16年4月1日、国立大学法人東北大学に移行したので、法人教員としての採用となる。また、平成19年4月1日から東北アジア研究センターの改編により、部門の名称が変更になる場合がある。

11. 書類提出先
〒980-8576 仙台市青葉区川内41番地
東北大学 東北アジア研究センター長宛
(書類を入れた封筒の表に「教員公募関係書類(地球化学研究分野)」と朱書き、「書留」で郵送して下さい。)
12. 問い合わせ
TEL 022-795-6009
(東北アジア研究センター事務室)
E-mail: asiajimu@cneas.tohoku.ac.jp
(できるだけE-mailでの問い合わせをお願いします。)
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに2月2日送信しました)

○教員募集

【弘前大学理工学部地球環境学科】

募集人員 教授1名

所 属 弘前大学理工学部地球環境学科

専門分野 自然災害の発生や防災・減災に関わる分野
担当科目 下記の授業を担当していただきます。

- ・学部: 自然災害の発生や防災・減災に関連した科目(地震工学, 土質力学, 構造力学, 空間情報学注) および同演習など)
- ・大学院博士前期課程, 同後期課程: 各々1科目程度の講義等。
- ・21世紀教育(弘前大学における教養教育の呼称): 1科目程度の講義。

応募資格

- (1) 学位: 博士またはPh.D.の学位を有すること。
- (2) 年齢: 55歳程度までの方が望ましい。
- (3) 実績・能力:
 - ・専門分野において優れた研究業績を有する方。
 - ・大学院博士後期課程の指導が出来る方。
 - ・国際的あるいは地域的な視点から産・官界および地域社会と連携して活動できる方。
 - ・教育および学科運営など学内の業務遂行に意欲と能力を有する方。

採用予定日 平成19年10月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類

- (1) 履歴書: (市販のもので可. 写真を添付すること. E メールアドレスを記入)
- (2) これまでの研究の概要 (A4 用紙に 1000 字程度)
- (3) 業績一覧 (査読付論文, 査読なし論文, 学位論文, 著書, 作品, 特許, 招待講演, 学会賞などの受賞, 研究助成などの取得, 教育実績, 学会等における活動, 社会における活動, その他の業績に区分すること)
- (4) 主要論文の別刷り (10 編以内, コピー可, 各一部)
- (5) 着任後の教育, 研究活動に対する抱負 (A4 用紙に 2000 字程度)
- (6) 応募者について所見を求めうる方 2 名の氏名, 所属, 連絡先住所, E メールアドレス

応募締切り 平成 19 年 5 月 31 日 (木) 必着
封筒に「教員応募書類在中」と朱書し, 簡易書留にて郵送願います. 応募書類は返却しません.

選考方法

第一次選考: 書類審査

第二次選考: 面接 (面接に来ていただく際の旅費等は応募者の負担とさせていただきます.)

書類送付先・問合せ先

〒036-8561 弘前市文京町 3

弘前大学理工学部 教員選考委員会

委員長 佐藤魂夫

電話: 0172-39-3609 (直通)

e-mail: tamao@cc.hirosaki-u.ac.jp

その他 弘前大学理工学部地球環境学科については下記のホームページを参考にしてください.

<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~earthenv/>

注) 空間情報学では GPS (汎地球測位システム) と GIS (地理情報システム) を中心に, 空間情報の収集・処理・解析について教育します.

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 2 月 10 日送信しました)

○三朝国際インターンプログラム 2007 (夏期) 募集の案内

1. 地球物質科学研究センターについて
下記のホームページを参照
<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/>
2. 三朝国際インターンプログラム 2007 について
http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/koubo/intern07_info_j.html
参加者は, 当研究センターが推進している 1) 地球惑星化学・年代学 (ICP-MASS, TIMS, SIMS, XFS 等を用いた地球惑星物質の元素・同位体測定等), 2) 高圧実験科学・鉱物物理学 (マルチアンビ

ル装置を用いた高圧実験, 相平衡, 電気伝導度, 弾性, 塑性的性質測定等) 3) 高圧結晶化学・マグマ学 (DAC, マルチアンビル装置, ガス圧装置等を用いた高圧実験, NMR, Raman, IR 分光法測定, MD 計算, 第一原理計算等) に関する最先端研究プロジェクトに参加. プログラム終了時には, 英語による研究成果発表を予定.

3. 実施期間
平成 19 年 7 月 2 日 (月) ~ 8 月 10 日 (金) (6 週間)
4. 募集人数 10 名程度
5. サポート
旅費及び滞在費は全額負担します. なお滞在に際し大学付属の宿泊施設を利用
6. 応募条件
地球科学または関連分野 (物理, 化学, 材料科学等) 専攻の学部 3・4 年生または修士学生 (国籍は問わない). 英語によるコミュニケーション能力があること.
7. 応募締め切り
平成 19 年 3 月 15 日 (木) 必着
8. 決定通知 4 月上旬
9. 応募書類 (英語または日本語)
 - (1) 申請書 (所定様式使用)
 - (2) 応募者の所属大学の教員 2 名 (できれば現指導教員及び部局長) による推薦状 (所定様式を使用し, 推薦人より下記書類送付先に直接送付するよう依頼してください.)
 - (3) 成績証明書 1 通
成績証明書は郵送すること. それ以外は署名または捺印した上で, 電子メール添付書類 (pdf ファイル) での送付も可.
10. 書類送付先
〒682-0193 鳥取県東伯郡三朝町山田 827
岡山大学地球物質科学研究センター
中野 芳子 宛
E-mail: coe@misasa.okayama-u.ac.jp
11. 問い合わせ先
岡山大学地球物質科学研究センター
薛 献宇 助教授 (プログラムコーディネーター)
E-mail: xianyu@misasa.okayama-u.ac.jp
または他の教員 (教員リストはホームページを参照)
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 1 月 31 日送信しました)

○火山学会大会委員会からのお知らせ

2007 年日本地球惑星連合大会が 5 月 19 日 (土) ~ 24

日(木)の6日間に千葉市の幕張メッセ国際会議場で開催されます。この連合大会に係る投稿締切日などは以下の通りです:

早期締切: 2007年2月7日(水) 17時

(投稿料が半額の1500円です)

最終締切: 2007年2月14日(水) 正午

(投稿料は3000円です)

詳細は連合大会案内HPにてご確認ください。

<http://www.jpogu.org/meeting/index.htm>

<http://www.jpogu.org/meeting/2007contri.html>

火山学会が参画しているセッションは以下のとおりです。皆さまの積極的なご投稿をお待ちしております。

【レギュラーセッション】

V156 活動的火山

青木陽介, 市原美恵

活動的火山の噴火や火山活動に伴う諸現象, 火山体構造, 災害予測やその軽減などについて各種地球物理・地球化学観測・地質学的調査などに基づき学際的立場で議論する。歴史噴火や各種観測技術の開発に関する話題も歓迎する。

V157 火山・火成活動とマグマ

木村純一, 及川輝樹・石塚吉浩・下司信夫

マグマ発生から移動・蓄積, マントルや地殻との相互作用, 脱ガス, 噴火様式, 噴出物の挙動・堆積に到るマグマの挙動の各過程に関する物質科学的話題を議論する。またマグマの物性や各種技術の開発に関する話題も対象とする。

【スペシャルセッション】

V236 島弧マグマと揮発性物質

篠原宏志, 田村芳彦・菅原 透

水を筆頭とする揮発性物質は島弧マグマの成因・分化から噴火・熱水活動まで, 島弧マグマ活動の潤滑剤であり, 時に原動力である。本セッションでは, マグマ岩石学, メルト包有物, 火山ガス・温泉放出量や元素分配・マグマ物性に及ぼす揮発性物質の影響など様々な視点の研究を紡ぐことにより, 揮発性物質を鍵として島弧マグマの成因・分化・脱ガス・噴火過程や沈み込み帯における物質循環などを明らかにしたい。

V237 火山の熱水系

江原幸雄, 鍵山恒臣・篠原宏志・藤光康宏

マグマと地表との間には, 異なる地学環境の中で, 多様な熱水系が生じている。熱水系の理解は地球システムの理解に寄与するとともに, 地熱エネルギー利用或いは火山噴火予知においても不可欠なことではできない。本セッションでは火山の熱水系に関して, 地球物理・地球化学・地質学・貯留層工学的立場からの地下構造及び熱と

流体の流れに関する議論を集中的に行う。理論・観測・実験いずれの立場からの研究も歓迎する。

V238 火山爆発のダイナミクス

中村美千彦, 並木敦子

火山噴火の発生場・準備過程・メカニズム・地表現象などに関する最近の研究成果を集約し, 火山爆発のダイナミクスが現時点でどこまで理解されたのかについて包括的に議論したい。今後の研究を展望するために, 異なる手法(観測・実験・理論)の融合・理工学の連携から得られた新しい知見や, その手がかりとなる提案を特に歓迎する。また, 火山学の研究成果を災害軽減に生かす試みについての研究発表もあわせて行いたい。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに2月2日送信しました)

○2007年度 地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者の募集

2007年度 地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者を募集します。

学会としてのご推薦, または個人会員からのご推薦のいずれからでもお受けします。下記の要領でご応募下さい。

申請書類は, 地球化学研究協会のホームページからダウンロードして下さい。

1. 三宅賞

対象: 地球化学に顕著な業績をおさめた研究者

表彰内容: 賞状, 副賞として賞牌および賞金30万円, 毎年1件(1名)

2. 奨励賞

対象: 推薦締切日に35才以下で, 地球化学の進歩に優れた業績を挙げ, 将来の発展が期待される研究者

表彰内容: 賞状および賞金10万円, 毎年1件(1名)

3. 応募方法: 申請書に略歴, 推薦理由, 研究業績などを記入し, 主な論文10編程度(三宅賞), 2編程度(奨励賞)をそえて, 下記のあて先へ送付して下さい。

応募書類等は, 三宅賞及び奨励賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。

4. 締切日: 2007年8月31日

5. 地球化学研究協会ホームページ: <http://www.soc.nii.ac.jp/gra/>

6. 応募先: 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ(公益信託)地球化学研究基金 江川康治

7. 問合せ: 地球化学研究協会事務担当まで, 電子メールでお願いします。

E-mail: t-sagi@ka5.koalanet.ne.jp

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに2月2日送信しました)

○平成19年度日本火山学会賞および日本火山学会研究奨励賞候補者の公募

日本火山学会会員の皆様

平成19年度日本火山学会賞および日本火山学会研究奨励賞候補者の公募を行います。

本年の秋季大会は島原市において開催される CoV の直前に予定されており表彰式の時間が取れないために、

本年5月に開催される総会(日本地球惑星科学連合2007年大会)において承認された後、賞状の授与を行う予定です。したがって、例年よりも公募の時期が早まっております。

公募要領につきましては日本火山学会の HP を参照ください。(火山第52巻1号掲載)

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/kazan/J/doc/kazankoubo2007.pdf>
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに2月6日送信しました)

訂正文

火山第 51 卷第 6 号に掲載された以下の書評（393 頁）には書籍の情報が抜けておりました。著者の不手際で、読者の皆様にご不便をおかけしましたことお詫びして、以下の追記を同封させていただきます。（三宅康幸）

町田 洋・松田時彦・海津正倫・小泉武栄編 「日本の地形 5 中部」

（2006 年 6 月 28 日発行，392 頁，本体価格 6800 円＋税，ISBN4-13-064715-6，東京大学出版会）